

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月7日
【四半期会計期間】	第35期第3四半期（自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日）
【会社名】	元気寿司株式会社
【英訳名】	GENKI SUSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長社長執行役員 法務人 尚史
【本店の所在の場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【最寄りの連絡場所】	栃木県宇都宮市大通り二丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	経理部長 斎藤 義範
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第3四半期連結 累計期間	第35期 第3四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	18,313,379	20,147,201	24,598,893
経常利益(千円)	432,862	781,851	744,104
四半期(当期)純利益(千円)	327,476	666,617	426,127
四半期包括利益または包括利益 (千円)	342,796	705,691	461,508
純資産額(千円)	3,448,797	4,219,800	3,567,411
総資産額(千円)	12,134,701	13,784,413	12,148,656
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	37.08	75.49	48.26
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.4	30.6	29.4

回次	第34期 第3四半期連結 会計期間	第35期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.71	24.48

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約は以下のとおりであります。

契約の名称	相手方の名称	契約締結日	契約期間	契約内容
業務提携契約	カップ・クリ エイトホール ディングス(株)	平成25年 11月29日	契約締結日より期間の 定めなし	(1)店舗運営ノウハウの相互活用 (2)商品購入業務の効率化 (3)物流業務の効率化 (4)店舗開発業務の効率化 (5)国内及び海外での事業に関する共同展開

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた経済対策や金融政策などが好感され、企業の業績が改善しており、景気は緩やかに回復してきております。

外食産業におきましては、業界内の競争の激化や食材価格の高騰により厳しい経営環境が続いておりますが、個人消費の持ち直し傾向等もあり、明るい兆しが見えてまいりました。

このような状況の中で当社グループといたしましては、「鮮度とスピード」「笑顔と情熱」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の接客サービスの向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高201億4千7百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益7億3千6百万円（前年同期比73.2%増）、経常利益7億8千1百万円（前年同期比80.6%増）、四半期純利益6億6千6百万円（前年同期比103.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(国内事業)

国内事業におきましては、既存店の来店客数増加を維持し、客単価アップを図るとともに、店舗収益力を強化するため、各種営業政策を実施してまいりました。

店舗展開につきましては、前連結会計年度と同様に「魚べい」に経営資源を集中いたしました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新設店7店舗を出店し、不採算店等11店舗を退店したことにより、総店舗数は138店舗となりました。また、改装等につきましては業態転換を含め4店舗を実施いたしました。

この結果、国内事業の業績は、売上高166億8千7百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益1億9千8百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

(海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図り、子会社の店舗収益力を強化するため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、香港に8店舗、中国に13店舗、タイに1店舗、インドネシアに1店舗を出店し、香港で1店舗、子会社で1店舗退店したことにより、総店舗数は109店舗となりました。また、改装につきましては子会社において1店舗を実施いたしました。

この結果、海外事業の業績は、売上高34億6千万円（前年同期比30.4%増）、セグメント利益5億3百万円（前年同期比59.9%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,882,908	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	8,882,908	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備 金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	8,882	-	1,151,528	-	1,344,671

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 52,600	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,812,700	88,127	-
単元未満株式	普通株式 17,608	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,882,908	-	-
総株主の議決権	-	88,127	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
元気寿司株式会社	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	52,600	-	52,600	0.59
計	-	52,600	-	52,600	0.59

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は、52,827株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、桜橋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,619,024	3,702,975
売掛金	199,957	321,810
商品及び製品	233,618	552,820
原材料及び貯蔵品	43,803	67,170
その他	591,829	657,034
貸倒引当金	2,743	3,894
流動資産合計	4,685,489	5,297,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,510,505	5,808,847
土地	728,824	728,824
リース資産	2,213,948	2,979,680
その他	1,037,139	1,179,033
減価償却累計額	5,302,673	5,761,903
有形固定資産合計	4,187,744	4,934,483
無形固定資産	165,351	237,724
投資その他の資産		
差入保証金	2,157,896	2,341,275
その他	960,417	979,586
貸倒引当金	8,243	6,572
投資その他の資産合計	3,110,070	3,314,290
固定資産合計	7,463,166	8,486,497
資産合計	12,148,656	13,784,413

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,015,706	1,435,497
短期借入金	1,192,687	1,243,162
未払法人税等	138,381	42,000
賞与引当金	225,000	102,000
資産除去債務	23,230	21,500
その他	1,666,500	1,785,801
流動負債合計	4,261,504	4,629,960
固定負債		
長期借入金	2,018,858	2,242,862
リース債務	1,443,113	1,892,625
資産除去債務	335,614	329,175
その他	522,153	469,989
固定負債合計	4,319,740	4,934,652
負債合計	8,581,244	9,564,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	1,270,438	1,884,073
自己株式	70,608	70,928
株主資本合計	3,696,029	4,309,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,910	5,355
為替換算調整勘定	131,529	94,900
その他の包括利益累計額合計	128,618	89,544
純資産合計	3,567,411	4,219,800
負債純資産合計	12,148,656	13,784,413

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	18,313,379	20,147,201
売上原価	7,621,932	8,407,950
売上総利益	10,691,447	11,739,251
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	5,209,150	5,539,063
賞与引当金繰入額	95,000	102,000
その他	4,962,147	5,361,805
販売費及び一般管理費合計	10,266,297	11,002,869
営業利益	425,149	736,382
営業外収益		
受取利息及び配当金	576	689
為替差益	20,125	65,470
受取賃貸料	45,264	45,754
その他	37,390	41,870
営業外収益合計	103,357	153,786
営業外費用		
支払利息	74,285	85,509
賃貸費用	20,914	20,201
その他	444	2,605
営業外費用合計	95,644	108,317
経常利益	432,862	781,851
特別利益		
固定資産売却益	485	1,532
特別利益合計	485	1,532
特別損失		
固定資産除却損	1,859	3,405
減損損失	14,171	14,346
賃貸借契約解約損	21,022	4,558
特別損失合計	37,053	22,309
税金等調整前四半期純利益	396,294	761,074
法人税、住民税及び事業税	85,229	112,337
法人税等調整額	16,411	17,879
法人税等合計	68,817	94,457
少数株主損益調整前四半期純利益	327,476	666,617
四半期純利益	327,476	666,617

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	327,476	666,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	343	2,444
為替換算調整勘定	14,976	36,629
その他の包括利益合計	15,319	39,074
四半期包括利益	342,796	705,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,796	705,691
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	530,070千円	636,189千円
のれんの償却額	-	-

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	13,245	1.5	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当に関する事項

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	52,981	6.0	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,659,804	2,653,575	18,313,379	-	18,313,379
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	15,659,804	2,653,575	18,313,379	-	18,313,379
セグメント利益	184,699	315,234	499,934	74,784	425,149

(注)1. セグメント利益の調整額 74,784千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,687,000	3,460,201	20,147,201	-	20,147,201
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	-	-	-	-
計	16,687,000	3,460,201	20,147,201	-	20,147,201
セグメント利益	198,603	503,979	702,582	33,799	736,382

(注)1. セグメント利益の調整額33,799千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、営業力の強化と管理体制の明確化を図るため会社組織を変更しております。それに伴い、報告セグメントを従来の「レストラン事業」のうち、国内レストラン事業を「国内事業」、海外レストラン事業及び「フランチャイズ事業」を「海外事業」に区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	37円08銭	75円49銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	327,476	666,617
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	327,476	666,617
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,830	8,830

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

元気寿司株式会社

取締役会 御中

桜橋監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川崎 健一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 富田 鉄平 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。